



「生涯学習インストラクターの求められる姿をめざして」

顧問 会津支部 鈴木 隆子

県生涯学習インストラクターの会会津支部が、平成15年に設立されその支援事業として「いきいき人生塾」を主催し、早くも今年度で9年目となりました。これ一

重に皆様方のご指導とご協力があればこそと深く感謝しております。担当者として、毎年事業が終了すると満足感を抱きました。(本年度のまとめは2、3頁に掲載します。—広報委員—)

本部からの生涯学習推進事業の情報交換や交流を図る案内などに興味関心を持ち、自分なりに研修をしてきました。それらを十分に理解し実践していきたいと思っただけ矢先、私自身が大病を患い一時は、体を回復させることしか考えられない状態でした。その間、いつもアドバイスしてくれていた夫が、私の任務を引き受けてくれ継続実施できました。何かすっきりしない不安の残る結果でしたが、療養中皆様方の温かい励ましに「私の生き方」を変えることになりました。現在は、会員も増えより充実した事業となっていると自負しています。

最後に、知人の住職さんに教えていただき感銘を受けた言葉を紹介し、今後共生涯学習インストラクターとして研鑽を重ねていきたいと思えます。

人生になくてならないもの

20～30代・・・才能 40～60代・・・信用 60～80代・・・徳望

第1回交流懇親会 —楽しいひととき 親睦深める—

副会長兼県中支部長 原田 重朗

会の組織強化と事業運営の円滑化を推進していくうえで、会員相互の親睦交流を図ることは大変重要なことでもあります。この度新しい企画として、県の中央である郡山市において、第1回交流懇親会を開催いたしました。

交流懇親会は、昨年12月7日(火)郡山駅前大通りの三松会館において正午より、美田副会長の司会進行により開会、原田県中支部長の歓迎のことばを兼ねた開会挨拶に始まり、菊地会長及び湯田前会長の挨拶に続いて齋藤事務局長により「北海道・東北ブロック生涯学習インストラクターの会交流研修会」の出席報告を受けた後、辺見顧問兼県南方部長の乾杯の発声により交流懇親会に入りました。

開始後しばらくしますと会場の雰囲気も和やかになったところで、自己紹介と近況報告、特に自己紹介では趣味特技等意外な発見や生涯学習活動のうえでもユニークな活動や体験をお聞きすることができ、今後の活動に大いに参考になったことが多くあったものと思われれます。又、県全体の各種行事に参加できずにおられた方が、初めて参加された方もおられ、他方部の方と密度の濃い交流ができ、理解を深めることができたようで大変有意義でした。

今回の開催は師走に入ってからでしたので、出席者も18名と若干少なめで、出席されたブロックも3方部に限られましたので、今後開催に当たっては開催時期や会場を持ち回りすること等、検討の余地があるのではないかと考えられますので、会員の意見、要望などをお聞きしていくのも、一方法かと思われれます。(集合写真は紙面の都合で4頁に掲載します。—広報委員—)

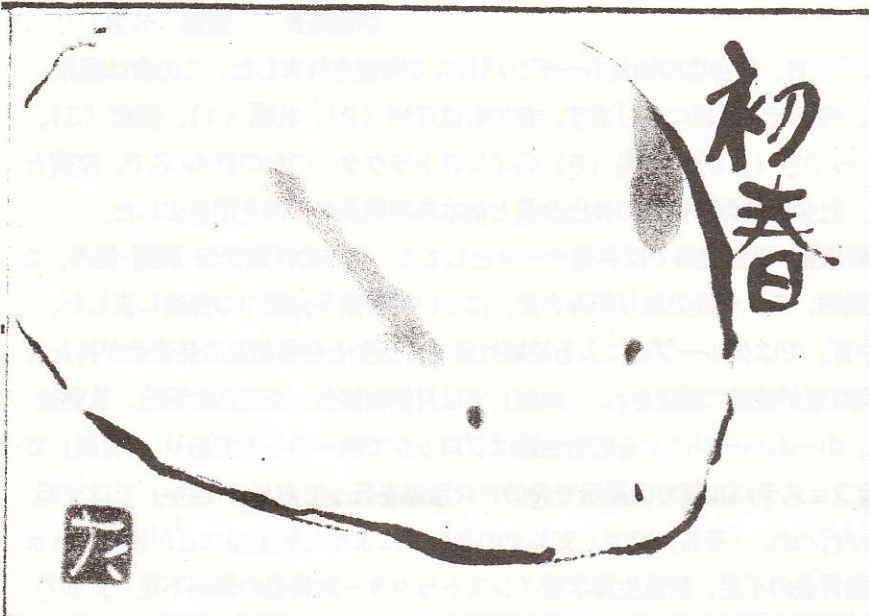
いきいき人生塾

平成23年1月16日発行・発行・編集・福岡県生涯学習センター・南会津支部

新年明けましておめでとうございます。昨年の夏の酷暑、日本経済の低迷、世界情勢の不安定、そして、12月末に、温暖化で、雪のない穏やかな正月を迎えられるかと思いきや、クリスマス夜～26日と大雪。積雪110cm。一昼夜での降雪ですらびっくり!!雪とたたけてもかたづけられず、自然のこわさを感じた年の暮れでした。(お、この大雪で協力して除雪する必要性から町内の結びつきが強化、親近感も高まるという好結果も生まれました。さて、新しい新年を迎え、今年は何

＜私のいきいき人生＞ **＜この一歩を踏み出す＞** 様にとりましてさうです!

具 体内 容的 考 考 法	<ul style="list-style-type: none"> ○ミキサーを使ったの食餌の作り方紹介 ○者語り披露 	夢を実現させるために 2班
表 表 法 企 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○餅作りは、レシオを配って口頭で説明 ○語り部として活動して、口頭で披露 	口頭で説明する 退職後の生活について(班長) 時間(10分) 共同研究
こ の 一 年 を 振 り 返 す	<ul style="list-style-type: none"> ○幕滝の絶景はすばしかったが、きつかった。もう少し(業)に歩く場所だと気軽に参加できる。 ○野外学習はやはり楽しみなので、来年度も2～3回計画してほしい(4回は少ないのでは?) ○出欠は、必ず期限を守って班長に報告してほしい。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 慧日寺の見学説明がよかった。 2. 善多方の見学は、とても歴史があり、あれだけの歴史が善多方にあると思いませんでした。 3. 野草の話もよかった。
要 望	<ul style="list-style-type: none"> ○石田先生の内容とてもよかった。来年度も石田先生にお願いしていただきたい。(神指城、築城の目的とその規模等) 	<ul style="list-style-type: none"> ○屋外活動とかがあり、よかったと思います。回数も、今年でよいと思います。 ○南会津の姫さわりと南会津の歴史について
そ の 他	なし	<ul style="list-style-type: none"> ○大変お世話になっております。 ○事務の方々のお心遣いについても感謝しております。



初春

人生整「お」り充実した楽しいものになるよう努力していく所存でありますので、皆様方のご協力とご支援を今後共よくお願い申し上げます。

編集後記

会員の方々のご協力ですばらしい通信になりました。第8回の発行会も好評でした。事前打合せに役員の中野さん、水澤さん、柳井さん、中野(静)さん、インストラクターの清水節子さんの積極的な意見が、充実した内容になりました。

総理の年と初春より心より念願する次第です。また、「いきいき

<p>ちよつと ひとこと</p> <p style="text-align: right;">③ 班</p>	<p>手話の歌</p> <p style="text-align: right;">④ 班</p> <p style="text-align: center;">鬼道し</p>
<p>当日の参加者全員が、今年度の感想を述べる1人1分以内</p>	
<p>なし</p>	<p>なし</p>
<ul style="list-style-type: none"> ◦ 滝がすく良かた 風石も最高 ◦ 史跡(御廟)大変勉強になりました ◦ レクリエーション(お)楽道に取り入れることができそうな感じで生活の中にとり入れているたい。 ◦ 家庭から離れる・出掛けるということで大変リフレッシュした。 ◦ 仲間もでき、生活に中面ができた気持ちになりました 	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 国ではなかなか行けない野地温泉と幕滝の紅葉が見れて大変よかった。不安だった方も皆さんの協力を得て、橋も渡ることが出来て感動してました。 ◦ 喜多方のり田付通りも野々下さんの案内で昔の蔵の説明を聞きながら散策し、とてもよかった。喜多方ラーメンもおいしくいただきました。 ◦ レクリエーションでかたい身体が楽になり、笑いもあつた程でした。
<ul style="list-style-type: none"> ◦ 合唱も良いのでは。 ◦ この巻を続けていたただきたいと思いたい。 ◦ 来年も参加したい。 ◦ 田舎方面への屋外活動を考えていただければ。 ◦ 古峰神社への参拝も良いのでは。 	<p>是非、来春も、良い企画をお願いしたい。</p> <p>もう一度雄国温に行きたい。</p> <p>身に田舎を出かけた。</p>
<p>なし</p>	<p>人生整の奮闘がよ、次第にも次の国に暖かく迎えてくださるので喜んで出席したい。</p>

「北海道・東北ブロック生涯学習インストラクターの会交流研修会」に参加して

事務局長 齋藤 公男

標記研修会は平成22年11月13日~14日、仙台市の仙台ガーデンパレスで開催されました。この会は函館市で始まり、岩手県、秋田県を経て、今回で4回目になります。参加者は江別（2）、札幌（1）、函館（3）、青森（4）、岩手（7）、秋田（2）、みやぎ（20）、福島（6）各インストラクターの会の計49名で、来賓として山口仙台市中央市民センター長、社会通信教育協会の井出会長と鈴木事務局長の参加を頂きました。

開会挨拶、来賓挨拶の後、第一部研修会・活動発表では共通テーマとして1. 現在の活動状況・課題・悩み、2. 失敗例、成功例、自慢できる実践活動例、3. 今後の取り組み方策、について各県5分間ずつ発表しました。各県の活動内容の特徴として、「みやぎ」ではグループ制による地域社会での活動と会員相互の発表会が持たれており、「札幌」では出前講座、公開講座が頻繁に開催され、「函館」では月例研修会、交流活動講座、放課後こども教室支援活動などが開催され、ホームページによる広報活動はブロックで唯一のものであり、「青森」では出張講座を行い、県・市の生涯学習フェスティバル等での展示で会のPR活動を行っており、「岩手」では支部中心の活動とブログによる広報活動が行われ、「福島」では2支部での塾形式による公開講座などが報告されました。又、各県共通の悩みとして活動資金の不足、新規生涯学習インストラクター取得者の情報不足、支部方部などで活動に参加しない会員の情報不足などが挙げられました。

第2部意見交換会・全体交流会では活動資金不足に対応する助成金申請方法、広報活動強化のためのホームページの利活用と作成方法、高齢化社会を先取りした学校形式の実践活動報告、大学と連携した活動報告、新規会員獲得方法など2時間に渡り有意義な討議が行われました。懇親会では、各県単位で全員が挨拶し、アトラクションもあり、賑やかに交流懇親会が持たれました。

次期開催県は昨年12月に新幹線が開通した青森県に決定しました。

その後、宮城県が集計したアンケート結果を見ると、今回の交流会は各県ごとの発表時間が不足気味で、その逆に意見交換会の時間が長かったこと等は、反省点はあるが、大方は大変良かった、良かったとの意見が多く、相互に悩みを抱えながらも、克服した活動実践例など、参考となり得るものは多かったものと思われます。

又、今後の開催時期・場所・方法に関しては、毎年開催か隔年開催かについては意見半々で、開催地に関しても全体の中心県で開催するか巡回にするかも意見が分かれており、来年の青森県、再来年の札幌までは予定されているそうですが、今後のあり方については、各県の会長会議で煮詰める必要があるようです。



北海道・東北ブロック生涯学習インストラクターの会
交流研修会 平成22年11月13日(土)14(日)
仙台ガーデンパレス



福島県生涯学習インストラクターの会
第1回交流懇親会 平成22年12月7日(火)
郡山市 三松会館

県北支部の活動状況

県北支部長 美田 京子

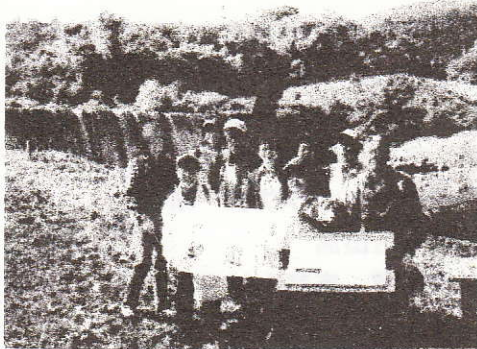
平成22年度の「ふくしま学遊塾」も後期に入り、10月、11月、12月の講座が盛会のうちに終了しました。地方紙（民友、民報）、リビングに掲載されて地域の人たちも楽しみに参加してくれ本当に嬉しく有難い事だと思っております。

又、郡山の会員の方も参加し受講して下さるといふ二重の喜びです。

残すところ、三講座になり次年度の計画を立てることができることに感謝します。

平成22年度後期計画

第9回	1月22日(土) 13:00~15:00	講義と実技 「やさしい家庭果樹づくり」	福島市清水学習センター研修室及び近隣農家	中村 紘夫 TEL 533-0502
第10回	2月26日(土) 13:00~15:00	講話と実技 「おひなさま」作り	福島市清水学習センター研修室	香野 仁子 TEL 553-9639
第11回	3月26日(土) 13:00~15:00	講義 「契約、クーリングオフ、悪質商法の話」	福島市清水学習センター研修室	関本 賢治 TEL 558-4571 齋藤 公男 TEL 557-8146



平成22年10月23日(土)
「荒川の治水施設見学と自然観察」

講師 齋藤公男

荒川は水質日本一で「新名水百選」に選定され地蔵原堰堤などの治水施設は土木遺産となっている。

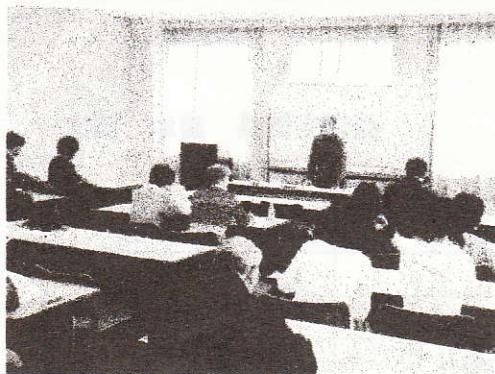


平成22年11月27日(土)

「もう一度森鷗外を学ぶ」

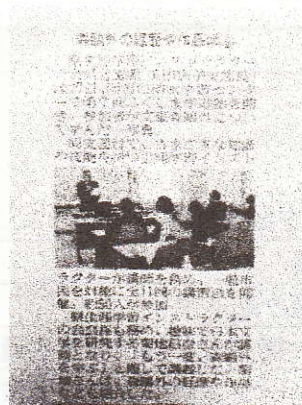
講師 菊地昌彦

日本の近代文学の最高峰「森鷗外」の生涯と作品について学ぶ。



平成22年12月18日(土)

歴史探訪「江戸の三行半」講師 湯田善一
江戸の「三行半」について長屋住いの佐吉とお勝夫妻を登場させその真相に迫る。



福島民友新聞 12月6日



福島民報社 12月3日

県中支部の動き

県中支部長 原田 重朗

平成23年度県中支部定期総会開催（予定）

1、日時：平成23年5月21日（土）13：30～

2、場所：郡山市中央公民館

※県中支部の設立は、平成16年1月25日であり、満7年を迎えたのを機に、支部活動運営全般について、見直し分析して今後の事業運営に活かして参りたいと思いますので、県中支部会員皆様のご意見、ご要望等を支部長へお寄せ下さい。

（支部長電話・FAX番号：(024)951-6111）

◎見直し事項

- ①役員の構成 ②学習会・研修会のあり方 ③交流会・研修会の開催
④会の広報活動 ⑤その他

平成22年支部活動の事蹟

5月12日（水）支部会計監査実施

16日（日）本部役員会 福島市民会館 支部より2名出席

23日（日）支部定期総会 郡山地域職業訓練センター 出席16名（内委任状8名）

6月7日（月）支部定期総会欠席者へ総会資料（議案集外）送付

13日（日）本部定期総会 福島市民会館 支部より4名出席

11月13日（土）北海道・東北ブロック生涯学習インストラクター研修会
仙台ガーデンパレス 支部より3名出席

12月7日（火）第1回交流懇親会 郡山市三松会館 支部より8名出席

ボランティア・地域づくり講演会

1、日時：平成23年2月11日（金・祝）13：00～

2、場所：郡山市 労働福祉会館（入場無料）

3、講師：俳優 永島敏行さん

4、講演内容：「人と人、小さな交流でみんながつながる」

5、申込先：郡山市 市民活動サポートセンター 電話・FAX (024)924-3352

会津支部活動状況

会津支部長 菊地 照文

平成22年度「いきいき人生塾」後半プログラム

月	講座名	講師
10月	絶景幕滝と紅葉狩り	大竹亮作氏
11月	蔵のまち喜多方 おたづき蔵通り	野々下政雄氏
12月	レクリエーションの講義や実技を通して	広木恒雄氏
1月	秋のいきいき人生・閉講式	鈴木隆子氏

会津支部関連事業「いきいき人生塾」後半の報告です。

〈 第5回学習会（10/16）「絶景幕滝と紅葉狩り」〉

大竹亮作氏による自然探訪の滝巡りです。

はじめに、猪苗代町土津神社にある保科正之公の墓所を見学の後、約1時間で磐梯朝日国立公園にある幕川温泉に到着。それから、幕滝目指して、森林の中の悪所、難所、壊れた丸木橋を乗り越え、辿り着いたら、目の前にありました。ただただ見上げるばかりの、大きく素晴らしい滝でした。帰りに新野地温泉にて汗を流して爽快そのものでした。

〈 第6回学習会（11/13）「蔵のまち喜多方おたづき蔵通り」の散策 〉

インストラクターの会会津支部の研修会も兼ねて行いました。

喜多方蔵の町コンシェルジュの資格を持つ、野々下政雄氏に案内していただきました。

職人の街の古道（歴史の道）や蔵の街・代官所跡・会津三方道路・瓜生岩子の生誕の地そして、自由民権運動の地、出雲神社などを詳しく説明していただきました。

昼には、蔵座敷「あづまさ」にて、喜多方ラーメンに舌鼓を打ちました。

〈 第7回学習会（12/12）「レクリエーションの講義や実技を通して」〉

広木恒雄氏による「レクリエーション」について。

はじめに、レクリエーションの定義・期待・支援や、これを支える制度について講義を受けました。

実技は、リーダーを中心に4～5人で行う、「後だしジャンケン」や「木こり・りす・あらし」、3人1組で何組にも分かれて行う運動ゲーム。5～6人行う時計のゲーム、「空から何が落ちた？」ゲームなど。

体を動かし、手を使い、頭を使い、笑いも出る、汗も出るしと、良い運動になりました。

〈 第8回学習会（1/16）「私のいきいき人生」・「閉講式」・「新年会」〉

鈴木隆子氏のプロデュースによる、いきいき人生塾生の各班による発表。

記念品づくりとして「壁掛け」に挑戦しました。新春懇親会では、屋敷を囲み、和気あいあいの中で22年度の「いきいき人生塾」も終了しました。

23年度についても、会津支部関連事業「いきいき人生塾」を継続出来るよう頑張りたいと思います。支部関連事業に協力していただいた、インストラクターの方々、「いきいき人生塾」を運営された方々に感謝しております。



平成22年10月16日

絶景幕滝と紅葉狩り



平成22年11月13日

蔵のまち喜多方 おたづき蔵通り

「全国社会教育研究大会」に参加して

県中支部

菊地 隆夫

新年明けましておめでとうございます。

昨年は「うつくしま、ふくしま発。地域が元気になる社会教育！」を大会スローガンとして郡山市に全国より千名近い社会教育委員及び社会教育関係者が集まって10月27日より3日間、全国社会教育研究大会福島大会が東北地区大会、福島県大会を兼ねて盛会に開催されました。社会教育と生涯学習に係る貴重な機会であったと充実感で一杯でした。

平成7年から8年間公民館長として、生涯学習の実践を体験し、退任後2年間通信教育で生涯学習について研修し、生涯学習インストラクターの資格を取得し、翌17年4月から町社会教育委員長、石川地区社会教育委員連絡協議会長、県理事に委嘱。20年10月全国生涯学習フェスティバルが5日間ビックパレットふくしまで開催され、体験ブース、大会懇親会等に参画できました。そして昨年、地域住民一人一人が生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の必要性や重要性が叫ばれている。そんな中、各地域における社会教育活動の状況や研究成果等の情報を交換し、生涯学習社会の実現をめざした社会教育の今日的課題の解決方法等について研究協議を行いました。課題は社会全体で家庭教育を支援する仕組みづくりのあり方。学校、家庭、地域住民の連携、協力等地域の教育力向上を考え、人づくり、まちづくりをめざした地域における生涯学習振興のあり方。地域の特色や伝統を未来につなぐ社会教育委員のあり方。住民の学校拠点としての社会教育施設のあり方等を協議しました。

第52回初めて福島県に回ってきた全国大会の実行委員として、地域の教育力向上を課題とした第二分科会の進行と実行委員長の代理挨拶、夜の懇親会アトラクションに福島県を代表し「あゝ 白虎隊」の剣舞を行い参加できたこと素晴らしい思い出となりました。

今年も語りべを生かし、命の大切さ、思いやりの大切さ、平和の大切さを伝えて参りたいと思います。

「私の生涯学習」 —山林原野が私のフィールド—

県北支部 山と川のご案内人 阿部 明義

里山で生まれ、里山で遊び学んで育って来た。俗に言う田舎者であります。

身についている事は五感で見聞きし体験したことの積み重ねで、今日の自分があるように思います。里山で(田舎)に生を受けたことがよかったのかなー、だとすればそのことの良さを後世に伝える事が私たちの役目であると思い「よろず自然学」を積極的に机上学習でなく山野に求め、踏査観察を踏み込んだ型で探求してきた。このことが第一の私の生涯学習であり、第二は伝える喜びだ、楽しさ、大切さである事をモットーとしているところです。

私は学者でも、技術者でもない、何でもない、しかし、山林原野に踏み込んでからは、負けることは少ないような気がしている。これが自身力という事なのだろう。

“人と自然とのつながり” 幼い頃より野外に出て(出して)体験学習させることにより、「自然のおきて」を体得するので各機関等から要請があれば積極的に出向しているところです。

主な生きがい実践行動(年間) = 延べ70日前後

4~5月 小中学校の野外(環境)教室

6~7月 県(都市部)外、中学校の林間学校

県内高校のサイエンス体験

8~9月 公民館等の夏休み野外体験



公民館などの中高年トレッキング

10～11月 観光ガイド（一般）

12～5月 （私的な）生きがい生涯学習—フィールド踏査
（冬の野生動物外）

これからも更に、両手に杖をついても自然が我、パワースポットとして楽しんで行きたい。



「私の生涯学習」

県北支部 本多 和子

私の生涯学習のテーマにしている事は、“郷土ふくしま再発見”です。

50歳をすぎて福島大学で、当時県の史学会会長でもあった、誉田宏先生の“福島県の歴史”という授業を受けて以来、実は自分の生まれ育った“ふくしま”について、全くの無知であった事を痛感し、もっと知りたい、さらに学びたいと考えるようになりました。

福島市教育委員会の主催する文化財ボランティア養成講座にも参加して2年間、新に多くの知識を得ることが出来ました。

現在、私なりに「東北の伝統こけし」と「市内に残る教会堂」の二つのテーマに取り組んでいます。

今、我家には500本程の東北各地のめんこいこけしたちが並んでいます。こけしは誰にとっても大変身近な郷土玩具ですが、意外にも、その起源や系統と特徴、木地師の祖先と言われる文徳天皇の第一皇子の惟喬（これだか）親王の歴史上の存在などは、ほとんど知られていません。子供の頃に伝統こけしと出会って50年以上、しかし「こけし学」は想像以上に奥が深く、東北の民俗学とも深いかわりがあり、私の学びもまだまだといったところです。

さらに、歴史的、文化財として大変価値の高い教会堂が、この地福島に残っていることも、残念ながら地元の人々には余り認識されておられません。

今年度の“ふくしま学遊塾”では、花園町にある“旧ノートルダム福島修道院”（現、マルグリットブルジョアセンター）について、今まで得た知識をまとめて、是非話をしたいと思い、資料を準備しております。

1932（昭和7年）に、初めてカナダのモントリオールからカトリックの布教と子女の教育を目的に、5人の修道女が福島の地に足を踏み入れてから、80年を迎えることと、修道院の設計者で、1923年、38歳で遠路テエコスロバキアから来日し、日本の様々な歴史的建造物の建築に携わり、晩年はアルゼンチンで司祭として一生を終えたヤン・ヨゼフ・シュヴァグル（スワガー）の数奇な運命にスポットをあてながら、今日までの旧のノートルダム修道院のたどっ

た歴史的な道のりを、一市民として省みたいと考えております。

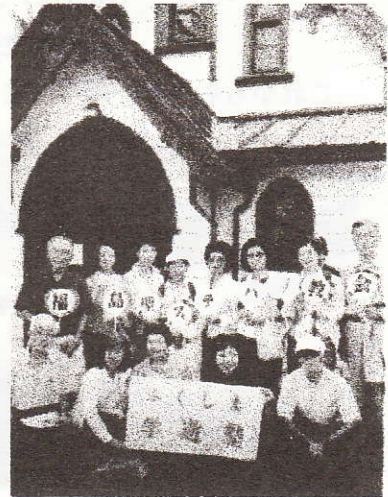
昨年9月には長い間の個人的にも念願だった3つの教会堂見学会を実現する事が出来て、今後の生涯学習活動の大きな励みにもなり嬉しい限りです。

これからも、小さな歩み続けながら、「郷土学」「東北学」の学びに励み、さらなる研鑽を積み重ねていきたいと願っております。



平成19年4月28日

こけしのふるさとと題して東北伝統こけしの起源、系統、木地師の話などについて話す。



平成22年9月18日

福島市内に残る教会堂見学会を実施

「私の生涯学習」

県中支部 吉村 忠雄

毎月一回定期的に地元の特別養護老人ホームに施設訪問ボランティア活動も、今年で5年目となりました。村の公民館の働きかけで結成された絵本の読み聞かせ会クックちゃんの会員十名とボランティア活動を始めにあたって、私のボランティア活動の体験を会員の皆さんに理解して頂くことから始めました。絵本の読み聞かせは月1回村の図書館で行われましたが、満足するだけの子供さんが集まってくれない悩みをかかえていました。そんな中、是非特別老人ホームの中で私は数多くのボランティア活動して来たことで、強く感じられたことは、完備された施設の中で生活できる老人に外からのふれあいの機会の少なさと、笑顔の少なさとが比例していると感じてきました。私達もいずれか通る道です。もっと心のふれ合う場所にすべきだと強く感じていました。その事を会員に話し賛同して頂き、施設側の了解も頂き実施となりました。施設内は五十名が四つのユニットに別れて生活していますので、当日参加された方が描くユニットに別れて入り午前十時より十一時までの手と手のふれあい、絵本を読んでもあげたり、昔、利用者の皆さんが唄っていた童謡を唄うと、一緒になって声を出して唄ってくれました。声も出さずに口だけを動かしている人もおられますが、一緒に参加して楽しんでいる様子が判りました。



あつと言う間の一時間ですが、私達も楽しみ、利用者の皆さんにも喜んで頂けることにやりがいを感じています。私は平成九年より、腹話術とマジック、皿回し、南京玉すだれなどで、約一時間のボランティア動を続けて十五年になります。

独学で学んだ腹話術ですが、幼稚園などで子供が腹話術の信（シン）ちゃんとの会話は静かに聞いてくれる！お人形さんの存在の大きさを実感する時でもあります。話題も責任も持てる事を確実に伝えられるようにと毎回毎回反省と努力の日が続きます。孫達と一緒に活動することにも力を入れております。

幼稚園、小学校、老人クラブまで広範囲にわたり依頼を受けて活動しております。これらも子供達と老人とのふれあいの橋渡しのお役に立てれば良いですね。自分が幸せになるためには、まわりの皆人も幸せにならないと本当の幸せ来ない！このことを信念に今後も頑張りたいと思っていますので、ご支援ご協力を心からお願い申し上げます。

「私の生涯学習」 <小さな音楽家>

会津支部 鈴木 育子

私共が対応している子供達は、それぞれに重度の障害を抱えている。親やケアサポートが必要とする児童です。他に年齢の高い子もいるか、回りの手や心を必要とするかわいい方々です。5回目となる子育て事業として毎年行うが、22年度は昨年より3人多い家族が参加しての音楽療法は子供達に受けがよく、とても入りやすい楽器や音に合わせての1時間半はあつと言う間に過ぎてゆくその中の一コマです。ダンスや音楽に合わせて唄う手拍子、トーンチャイム、カスタネット、ピアノ、タンバリン他いろいろな音が交わる中でそれぞれの音を出して楽しみながら話を聞いて自分なりに喜びや心の表現をしている気がします。只一つのことにとまるとは難しいけれど、彼らなりに一生懸命なのです。何度か繰り返している内に大きな成果が得られることに希望を持って毎回行っています。



悲しいことは、このような内容を外部へ発信しているが、参加を得ることが出来ず、とても残念に思っています。

県の子育てに名前を発信しているが、一緒に子供達と共に過ごして下さる方々、親子等毎年参加頂ける様希望しております。明日こそは音楽家の夢多き子供達へ愛の手を・・・お待ちしております。子供達は親の宝です。家族や大人達は、平等な心を与えてほしいと願ってやみません。

『私の生涯学習』～“子育てぽぴークラブ集いの広場”の活動を通して～

いわき方部 引地 晴子

一昨年から、私が一緒に研修した仲間と共に立ち上げ活動を展開している子育て支援事業“子育てぽぴークラブ集いの広場”について、その後の経過を含めてご紹介させていただきます。平成22年度は、会場をいわき市中央台公民館に移して、和室2部屋を開放し活動しています。他地区から転入し、マンションの1室等で孤立して生活している母子の子育て環境改善を目標とし、子育てに関わっている家族が心に余裕を持って子どもに接していけたら、児童虐待も減り、子どもを含めた社会全体の幸せにつながるだろうという思いからです。ただ一緒に遊ぶだけでなく、子育てのスキルアップも図りたいということで、同時託児をしながらのセミナーやイベントを月1回開催しています。

生後6ヶ月から就学前の子どもたちとその家族が対象です。現在35組の親子70名と、スタッフ14～5名、セミナー担当者数名のおよそ90名程が会場に集まります。

前期の開催日時と内容：各回ともAM9：30～11：30

6月23日（水）「子どものための音楽演奏会」

7月28日（水）「ベビーマッサージ教室」

8月25日(水)「親と子の楽しいコミュニケーション」

9月22日(水)「生命誕生のすばらしさ」

後期の開催日時と内容：各回ともAM9:30~11:30

11月24日(水)「この本読んだ? みんなで楽しもう!」

12月20日(月)「おいしく食べて心も元気!」

1月26日(水)「乳幼児健康セミナー」「劇団ピッコロによる人形劇」

2月23日(水)「カラーコーディネイトと色のパワー」

11時より、手作りおやつ・あたたかい飲み物とお子様をみんなで囲んで、楽しいティータイムです。もちろん、おやつは、お子様も一緒に食べられる安全で健康的なものです。

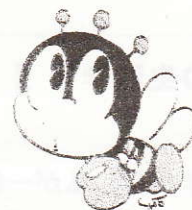
8月には、いわき青年会議所から、若きパパたちが応援に駆けつけ、健康と病院関係の紙芝居を上演してくれ、11月には、市の総合図書館職員と石森朗読の会から、70代~80代の方々がおいでになり、群読を披露してくれました。まさに『生涯学習』の真っ直中にいることを実感しています。



平成23年度全国生涯学習フェスティバル

生涯学習インストラクター全国大会

平成23年10月中旬 岩手県で開催予定



編集後記

新年おめでとうございます。今年は卯年です。当会にとりましても更に飛躍、発展の年になりますようお願いしております。本誌におきましては、多くの皆様から、多方面の活動報告を頂きました。まさに、卯のように躍動している姿を象徴しているような文章の数々に接し、感動的文章を編集させていただき、広報委員一同御礼申し上げます。

広報委員長 齋藤 公男